

# 精神科看護師の365日

平成25年度の日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.6

## ベテランナースの1日

医療法人晴和会あさひが丘ホスピタル・  
医療系顧問・長屋博喜さん(70歳・精神科看護歴約50年)の場合



毎日8時30分から行っている多職種ミーティングの風景。写真中央の男性が長屋さん。

### 精神科看護師になったきっかけ

当時は、看護学校と学生寮が精神科病院の敷地内に併設されていました。学生寮にはテレビがなく、開放病棟のデイルームで患者さんと一緒にテレビを見たりして、入学時から患者さんと触れあう機会が多く、精神科に対する違和感もありませんでした。精神科看護師になることになんのためらいもなく、愛知県の公立精神科病院に就職し、定年まで勤めました。定年後は現在の職場に再就職し、以後、古希を迎えても精神科看護師一筋の人生です。

### 現在の仕事内容

昨年までは専従の医療安全管理者として活動してきましたが、今年度からは法人の精神科病院と老人保健施設の医療系顧問としての業務を行っています。

特に、看護部を中心に相談や指導、看護職員の採用面接などに携わっています。また、認知症の方とご家族を地域で支える仕組みをつくることを目的に、平成20年に「春日井市認知症地域連携の会」を名誉院長とともに立ち上げ、

長屋さんの

### ある日のスケジュール

8:00	出勤 メールなど連絡の確認
8:30	多職種ミーティング 看護部ミーティング
9:00	事務処理
10:00	病院運営会議
12:00	休憩・昼食
13:00	入職希望者の面接
15:00	事務処理
16:00	「認知症についての市民シンポジウム」のための会場準備
19:00	退勤

運営に携わっています。また、日精看の支部役員(顧問)も務めさせていただいています。

### やりがいや励みになること

急性期病棟での勤務が長かったため、急性期看護が好きですが、いまでは急性期の患者さんとの触れあう機会がほとんどないのが残念です。当院は、高齢の患者さんがほとんどで、特に認知症の患者さんや家族の方々とのかわりは深まってきました。当院が認知症の専門病院として歩み始めて7年が経過し、昨年9月には愛知県より認知症疾患医療センターの指定を受けました。地域からさらなる役割を求められていることに誇りをもって仕事ができることが、私だけでなく病院職員全体のやりがいや励みであると思っています。

### 今後の目標

職場で必要とされ、活かされている間は自分で果たすべき役割を全うしていきたいです。そして、自分なりに長年培ってきた経験や学びを、少しでも後輩の方々のために活かし、より誇りをもって働ける職場にすることが目標です。